

2022年3月25日

各位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
いちごホテルリート投資法人
代表者名 執行役員 宮下 修
(コード番号 3463) www.ichigo-hotel.co.jp
資産運用会社名
いちご投資顧問株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岩井 裕志
問合せ先 執行役員ホテルリート本部長 岩坂 英仁
(電話番号 03-3502-4892)

ホテル運営状況のお知らせ (2022年2月度)

いちごホテルリート投資法人 (以下、「本投資法人」という。) の2022年2月度におけるホテルの運営状況につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本投資法人が保有する21ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

(1) 21ホテル合計

	2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
売上高 (百万円)	333.9	240.5	+93.4	+38.8%	617.2
RevPAR (円)	3,393	2,760	+634	+23.0%	7,016
客室稼働率 (%)	68.6	55.2	+13.4	+24.4%	85.9
ADR (円)	4,945	5,001	-56	-1.1%	8,166

(2) 変動賃料導入の15ホテル合計

	2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
売上高 (百万円)	256.7	149.3	+107.4	+72.0%	418.4
RevPAR (円)	3,673	2,509	+1,164	+46.4%	8,647
客室稼働率 (%)	77.5	56.5	+21.1	+37.3%	94.2
ADR (円)	4,737	4,443	+294	+6.6%	9,178

(3) 固定賃料の6ホテル合計

	2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
売上高 (百万円)	77.2	91.3	-14.0	-15.4%	198.9
RevPAR (円)	2,729	3,238	-509	-15.7%	5,744
客室稼働率 (%)	47.5	52.8	-5.3	-10.1%	85.5
ADR (円)	5,752	6,138	-386	-6.3%	6,720

2. 本投資法人が保有する変動賃料導入ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

ホテル／項目		2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
ネストホテル 札幌駅前	売上高 (百万円)	22.9	18.1	+4.8	+26.7%	80.5
	RevPAR (円)	4,271	3,085	+1,186	+38.4%	15,434
	客室稼働率 (%)	93.7	84.1	+9.5	+11.3%	98.0
	ADR (円)	4,558	3,667	+892	+24.3%	15,743
ネストホテル 札幌大通	売上高 (百万円)	16.7	6.0	+10.7	+179.5%	67.2
	RevPAR (円)	4,323	1,740	+2,583	+148.4%	18,755
	客室稼働率 (%)	90.9	47.3	+43.6	+92.3%	97.2
	ADR (円)	4,755	3,681	+1,074	+29.2%	19,290
スマイルホテル 東京阿佐ヶ谷	売上高 (百万円)	22.6	17.7	+5.0	+28.2%	30.7
	RevPAR (円)	7,132	5,447	+1,685	+30.9%	9,546
	客室稼働率 (%)	99.0	93.8	+5.2	+5.6%	98.6
	ADR (円)	7,201	5,806	+1,395	+24.0%	9,685
ホテルエミット 渋谷	売上高 (百万円)	11.7	6.9	+4.8	+68.7%	
	RevPAR (円)	5,794	3,430	+2,364	+68.9%	
	客室稼働率 (%)	98.7	68.8	+29.9	+43.4%	
	ADR (円)	5,870	4,982	+888	+17.8%	
ホテルウイング インターナショナル 名古屋	売上高 (百万円)	34.2	6.8	+27.4	+405.3%	38.1
	RevPAR (円)	5,455	960	+4,495	+468.1%	5,464
	客室稼働率 (%)	100.0	23.0	+77.0	+335.3%	90.4
	ADR (円)	5,455	4,179	+1,276	+30.5%	6,045
スマイルホテル 京都四条	売上高 (百万円)	6.7	2.6	+4.1	+157.8%	25.3
	RevPAR (円)	1,519	619	+900	+145.4%	5,782
	客室稼働率 (%)	60.6	23.3	+37.3	+160.1%	99.8
	ADR (円)	2,505	2,656	-150	-5.7%	5,796
ザ・ワンファイブ 大阪堺筋	売上高 (百万円)	8.0	-	-	-	22.2
	RevPAR (円)	2,183	-	-	-	6,103
	客室稼働率 (%)	93.2	-	-	-	85.8
	ADR (円)	2,342	-	-	-	7,114
ネストホテル 大阪心斎橋	売上高 (百万円)	14.6	1.8	+12.8	+721.0%	69.5
	RevPAR (円)	1,476	-	-	-	7,629
	客室稼働率 (%)	46.3	-	-	-	92.0
	ADR (円)	3,190	-	-	-	8,294
ホテルウイング インターナショナル 神戸新長田駅前	売上高 (百万円)	13.2	13.6	-0.4	-2.8%	
	RevPAR (円)	3,358	3,262	+96	+3.0%	
	客室稼働率 (%)	47.2	52.3	-5.1	-9.8%	
	ADR (円)	7,118	6,236	+882	+14.1%	
ネストホテル 松山	売上高 (百万円)	14.4	13.3	+1.1	+8.6%	40.5
	RevPAR (円)	2,240	2,144	+96	+4.5%	5,359
	客室稼働率 (%)	53.7	52.6	+1.1	+2.0%	86.9
	ADR (円)	4,173	4,074	+98	+2.4%	6,168

ホテル／項目		2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
ザ・ワンファイブ 岡山	売上高 (百万円)	17.9	9.9	+8.1	+82.1%	31.4
	RevPAR (円)	2,935	1,678	+1,256	+74.9%	5,143
	客室稼働率 (%)	96.8	68.0	+28.9	+42.5%	90.7
	ADR (円)	3,031	2,470	+561	+22.7%	5,673
ザ・ワンファイブ ガーデン倉敷	売上高 (百万円)	2.1	6.4	-4.3	-67.2%	19.5
	RevPAR (円)	629	1,624	-995	-61.3%	5,759
	客室稼働率 (%)	12.0	32.5	-20.5	-62.9%	98.0
	ADR (円)	5,216	4,994	+222	+4.4%	5,876
ヴァリエホテル 広島	売上高 (百万円)	36.3	28.4	+7.9	+27.9%	
	RevPAR (円)	7,500	5,923	+1,577	+26.6%	
	客室稼働率 (%)	100.0	77.8	+22.2	+28.5%	
	ADR (円)	7,500	7,614	-114	-1.5%	
ザ・ワンファイブ 福岡天神	売上高 (百万円)	6.8	5.1	+1.7	+33.7%	24.9
	RevPAR (円)	2,700	1,895	+805	+42.5%	10,861
	客室稼働率 (%)	75.5	78.5	-3.0	-3.8%	98.3
	ADR (円)	3,578	2,415	+1,163	+48.2%	11,051
ネストホテル 熊本	売上高 (百万円)	28.3	12.8	+15.5	+121.1%	
	RevPAR (円)	4,997	2,010	+2,987	+148.6%	
	客室稼働率 (%)	100.0	54.7	+45.3	+82.7%	
	ADR (円)	4,997	3,671	+1,326	+36.1%	

3. 本投資法人が保有する固定賃料ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADR

ホテル／項目		2022年2月 (A)	前年同月 (B)	差額 (A) - (B)	増減率	2019年2月 【ご参考】
コンフォートホテル 釧路	売上高 (百万円)	11.4	11.2	+0.2	+1.4%	16.5
	RevPAR (円)	3,039	2,998	+40	+1.3%	4,447
	客室稼働率 (%)	64.6	63.8	+0.9	+1.3%	83.7
	ADR (円)	4,702	4,701	+1	+0.0%	5,312
コンフォートホテル 浜松	売上高 (百万円)	15.5	11.3	+4.2	+37.2%	25.0
	RevPAR (円)	2,819	2,055	+763	+37.2%	4,549
	客室稼働率 (%)	54.0	40.7	+13.3	+32.6%	81.4
	ADR (円)	5,224	5,051	+173	+3.4%	5,589
コンフォートホテル 中部国際空港	売上高 (百万円)	35.0	21.7	+13.3	+61.3%	79.8
	RevPAR (円)	3,530	2,180	+1,350	+61.9%	7,875
	客室稼働率 (%)	46.2	28.5	+17.7	+61.9%	88.8
	ADR (円)	7,646	7,646	+1	+0.0%	8,864
コンフォートホテル 鈴鹿	売上高 (百万円)	9.1	6.9	+2.2	+32.0%	9.7
	RevPAR (円)	3,097	2,305	+792	+34.4%	3,247
	客室稼働率 (%)	62.4	49.5	+13.0	+26.2%	64.5
	ADR (円)	4,960	4,658	+302	+6.5%	5,038
アーバイン広島 エグゼクティブ	売上高 (百万円)	2.9	37.0	-34.1	-92.3%	28.1
	RevPAR (円)	597	7,728	-7,131	-92.3%	5,877
	客室稼働率 (%)	11.9	100.0	-88.1	-88.1%	90.8
	ADR (円)	4,998	7,728	-2,730	-35.3%	6,471

- ※1 上述の数値は借借人から取得した情報を原則としてそのまま記載しておりますが、一部は借借人から取得した情報に基づき、いちご投資顧問株式会社にて集計しております。各月の数値については監査等の手続きを経ているものではなく、個々の数値の正確性について保証できるものではありません。また、上述の各数値は、今後提出する有価証券報告書等の資料に記載の数値と一致しない場合があります。
- ※2 「売上高」とは、借借人が旅行宿泊施設運営事業およびその付帯事業により得た収入のことをいい、単位未満を四捨五入して記載しております。ザ・ワンファイブ大阪堺筋、ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前およびスマイルホテル東京阿佐ヶ谷における店舗に係る賃料およびネストホテル熊本における外部貸し宴会場に係る賃料は含まれておりません。
- ※3 「RevPAR」とは、1日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売可能客室数合計で除した値を記載しております。
- ※4 「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値を記載しております。

$$\text{客室稼働率} = \text{対象期間中に稼働した延べ客室数} \div (\text{対象期間中の全客室数} \times \text{対象期間の営業日数})$$
 なお、予定滞在期間の宿泊料を支払っているにもかかわらず滞在期限前にチェックアウトした客室に別の当日客を宿泊させる場合や、時間利用の場合に、上述「対象期間中に稼働した延べ客室数」に加算することがあり得るため、客室稼働率は100%を超える場合があります。
- ※5 「ADR」とは、平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊売上高合計 (料飲売上、その他売上およびサービス料等を除きます。) を同期間の販売客室数 (稼働した延べ客室数) 合計で除した値の単位未満を四捨五入して記載しております。
- ※6 当月末時点で本投資法人が保有するホテルは23ホテルですが、カプセルプラス横浜および下関駅西ワシントンホテルプラザについては借借人から運営実績の開示についての同意が得られていないため集計対象外としております。また、ホテルリブマックス日本橋箱崎につきましても、借借人から運営実績の開示についての同意が得られていないため個別での開示はしておりませんが、保有21ホテル合計および固定賃料の6ホテル合計には含まれております。
- ※7 ヴァリエホテル広島は、2021年2月8日以降、広島県により一棟での借り上げがなされております。
- ※8 ホテルウィングインターナショナル名古屋は、2022年1月28日以降、愛知県により一棟での借り上げがなされております。
- ※9 ネストホテル熊本は、2022年2月1日以降、熊本県により一棟での借り上げがなされております。
- ※10 本投資法人保有以前のデータは、前所有者から受領したデータに基づき記載しております。
- ※11 本投資法人が保有する21ホテルの売上高、RevPAR、客室稼働率およびADRに記載されている2019年2月【ご参考】の各種指標は、2019年2月から現在まで継続保有している17物件について集計しており、ホテルウィングインターナショナル神戸新長田駅前、ヴァリエホテル広島、ネストホテル熊本、ホテルエミット渋谷は含まれておりません。また、ザ・ワンファイブ岡山は2019年2月時点では、コンフォートホテル岡山として営業しており、固定賃料ホテルとして集計しております。

4. 対前年同月比差異の主な要因

2022年2月につきましては、札幌、阿佐ヶ谷など、一部の地域では高稼働が続いたことから、ADRを除くすべての指標で前年同月実績を大きく上回る結果となりました。一方、コロナの影響がなかった2019年2月との比較では、本格的な回復には至っておりません。各ホテルでは、引き続き感染症対策を実施しつつ、まん延防止等重点措置解除後の需要獲得に努めております。

5. 収益向上に向けた取り組み

スマイルホテル京都四条において、この度、宿泊施設事業継続緊急支援事業補助金（工事代金の最大1/2まで交付）を活用し、テレワークやワーケーションなどの新たな需要に対応するため、Wi-Fi設備の全館改修を行いました。より快適な通信環境が整い、宿泊のお客様から好評を得ております。

いちごホテルでは、今後も新たな生活様式に応じた新たな需要を取り込むため、心築（※）を通じてお客様の満足度を図り、収益性の向上に努めてまいります。

※ 心築（しんちく）とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することをいい、日本における「100年不動産」の実現を目指しております。

以 上